

校の校舎が新しく建てられました。
当時のお金で、94万円かかりました。
この年には、部落集会も開かれ、47
人も人が出席しました。

昭和29年（1954年）には「平田村
立蓬田小学校乙空釜分校」と、名前
があらためられました。

昭和30年（1955年）になると、乙
空釜開たく部落の全戸に、電気が入
りました。これまで、電気導入委員
会がつくられ31戸が加入し、努力を
続けて、電気が入るようになったのです。全部で277万円というたいへんなお金が、
かかりました。

昭和40年（1965年）には、へき地集会室が、でき上がりました。これには、250万
8000円の工費がかかりました。この集会室は、分校屋内体育館としてもつかわれて
います。

昭和42年（1967年）には、分校の校歌が
つくられ、声高らかに歌われるようになり
ました。

昭和51年（1976年）には、平田村簡易水
道浄水場と配水池が完成され、平田村の
水道に、大きく役立っています。

以上のように、部落がととのってきて、
昭和53年（1978年）には、乙空釜開たく100
周年記念式典が行われました。この時の戸
数は51戸になっていました。そして同時に、
乙空釜分校開設30周年記念式典も行われま
した。

その後、昭和57年（1982年）には、部落
の道路の一部がほそうされ、交通の便もよ
くなっています。次の年には、部落集会所
も新しくでき上がりました。

注(1)…1町は、およそ10000㎡

1反は、およそ1000㎡

1畝は、およそ100㎡

注(2)…戦争中、空襲などをさけるため、都会から地方に移り住むこと。



87-1

部落運動会

87-2



乙空釜開拓100周年記念式典
乙空釜分校開設30周年記念式典